

# Inventory Subledger Standard

2017年3月版



## AuditDataStandards.Inventory.March2017 監査データ標準(在庫管理編)

Prepared by the AICPA Assurance Services Executive Committee  
Emerging Assurance Technologies Task Force

Copyright © 2017  
by Association of International Certified Professional Accountants  
New York, NY 10036-8775

*Permission is granted to make copies of this work provided that such copies are for personal, intraorganizational, or educational use only and are not sold or disseminated and provided further that each copy bears the following credit line:*

本資料の複製は、個人利用、社内利用、または教育目的の場合のみ、かつ、販売または流布および提供目的ではない場合に、複製物に以下の文言を含めることで許可される。

*“Copyright © 2017 by Association of International Certified Professional Accountants. Used with permission.”*

*Copyright © 2017 by American Institute of Certified Public Accountants. All rights reserved. Translated with permission.*  
なお、日本語の本仮翻訳は、AICPA の許可のもと、XBRL Japan 開発委員会ADS サブワーキング (SWG リーダー 公認会計士 木村章展) が実施をした。英語の原文が正である。今後、AICPA でのADS の改訂を受けて、予告なく翻訳を改訂する場合もある。

### **Assurance Services Executive Committee (2016 - 2017)**

Robert Dohrer, *Chair*  
Bradley Ames  
Christine M. Anderson  
Bradley Beasley  
Nancy Bumgarner  
Jim Burton  
Chris Halterman

MaryGrace Davenport  
Jennifer Haskell  
Brad Muniz  
Michael Ptasienski  
Joanna Purtell  
Miklos Vasarhelyi

### **Emerging Assurance Technologies Task Force Audit Data Standard & Audit Data Analytics Working Group**

William R. Titera, Chair  
Joel Pinkus, Lead  
Paul Barbour  
Karl Busch  
Cheryl Caldwell  
Eric E. Cohen  
Brian Collins  
Hunter Cook

Paul Demastus  
Robert Dohrer  
Kristine Hasenstab  
Dale Livezey  
Mark Mayberry  
Josh Phillips  
Daniel Shorstein  
Miklos Vasarhelyi

### **Additional Contributors**

Gianluca Garbellotto

### **AICPA Staff**

Amy Pawlicki  
Director  
Business Reporting, Assurance & Advisory  
Services

Dorothy McQuilken  
Manager  
Business Reporting, Assurance & Advisory  
Services

# Audit Data Standards 監査データ標準

標準化の利点はよく認識され、様々な一般的な IT 標準の開発に結びついている。データ標準は、企業<sup>1</sup>データを効率的に交換する際に、マネジメント層や、内部監査人および外部監査人が直面する継続した問題に対処するために必要である。このプロセスは、経理部門および IT 人員が異なる観点からこのような情報を要求するために複雑になる。例えば、ある場合には、監査関連のデータ依頼は、経理部門からより関与に制限のある企業の IT 部門へ直接転送される。多くの場合では、監査人にとってデータ要求は負担である。

AICPA アシュアランスサービスエグゼクティブ委員会は監査および他の関連する目的のために一般に要求されるファイルとフィールドのためのフォーマットの標準化によって監査プロセスの効率性および有効性にこの監査データ標準(ADS)が貢献するだろうと考えている。同様に、もし企業がこのデータを共有することを決めれば、標準化された情報(債権者のような)の他の利用者が利益を得るであろう。大企業、そして中小企業、公開若しくは非公開企業は、監査データ標準の適用により利益を得る立場にある。監査人によって定期的に要求されたデータの標準化によって、企業は情報の要求プロセスを自動化し、複製することができ、それによって、要求されたデータを提供するのに必要な時間と労力を減らすことができる。さらに、企業のスタッフおよび内部監査人は、内部目的のための標準化されたデータを利用することにより強化された解析能力から利益を得るであろう。さらに、この標準により外部監査人が行う強化されたデータ分析にこのデータの利用が可能になる。

これらの標準は、良く設計された会計および財務報告システムに導入することができるすぐれた慣行である。

この公表物では、在庫元帳についての標準を提示する。

監査データ標準では、テクニカル・デザイン(ファイル、テーブル、フィールド、フォーマットなど)と、その使用についての理解に不可欠なデータに関する補足的質問を対象とする。前者は、通常 IT システム設計に対して提示されることが適している。後者は、一般的に経理あるいは財務担当者によって、IT 担当者からの入力による情報が提供される。これらが情報の抽出のための任意の推奨されたデータ標準であることに留意すること。これらのデータ抽出標準は必須のものではない。また、権威のある監査あるいは会計基準から提示されたものでもない。

これらの標準では、ある程度柔軟性も持たせている。標準化することに価値があるという認識がある一方で、特に規模や業界内での特徴が多様な企業においては、個別に適用する利点もあるためである。この標準は、各国特有の要件に対応しており、国際的な適用が可能である。これは最低の標準で、制限するのが目的ではない。したがって、ユーザはユーザ定義のフィールドをカスタマイズして、作成してもよい(例えば、項目は除かれるべきではないが、まだ標準になっていない項目は追加してもよい)。しかしながら、標準化(特に示されなかった時)の利点を達成するために、個々のカスタマイゼーションは回避されるべきである(言い換えれば、項目が標準に定義されている場合は、それを再定義しない)。一旦企業が特定の取り決めを採用すれば、

<sup>1</sup> この表現としての企業は、企業、パートナーシップ、政府機関、非営利事業体などを表現するために意図され、営利団体に限定されるものではないことに留意する。

主な IT システムの変更の実施や標準化されたデータの供給者および利用者の相互に合意された拡張がない限り、一貫してこの取り決めによってそのデータを提供するべきである。

監査データ標準の仕様は、そのデータ標準の設計者が携わった大多数のシステムからの要求を基に設計された。つまり、フラットファイル(パイプ区切り)のフォーマットでは、「反復性」がある特定のフィールドは特定の数字で固定されたことを意味する。次のような場合である。

- 監査データ標準(基礎編)の Business\_Unit\_Listing:
  - Business\_Unit\_Hierarchy[1] - [5]
- 監査データ標準(総勘定元帳編)等の GL\_Detail\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD:
  - Segment[01] - [05]
- 監査データ標準(売掛債権編または受注・入金編)の Customer\_Master\_YYYYMMDD:
  - 住所および請求先住所
- 監査データ標準(仕入・支払編)等の Invoices\_Received\_YYYYMMDD\_YYYYMMDD:
  - GL\_Debit\_Account\_Number および GL\_Credit\_Account\_Number

最後の例では、入力行には貸方および借方の勘定科目がある。詳細ではなく概要を生成する場合、全請求書には以下の場合を除いて貸方および借方の組が 1 つのみ存在する。

1. 監査人および被監査会社が、詳細行の最後に貸方および借方の勘定科目を付加すること、そのフォーマットで問題ないことに同意した場合
2. パイプ区切りのフォーマットではなく、XBRL GL フォーマットが使用される場合。  
XBRL GL カラムの注釈に記載される通り、XBRL GL はフラットファイルフォーマットよりも多くの項目を許可するデータ表現方法を採用している。

さらに複雑で階層的または重複する項目が必要になる場合、XBRL GL は監査データ標準を使用した共有データを表現するにはより実用的なフォーマットである。

監査データ標準を導入する企業は、最初にエンタープライズ・リソース・プランニング(ERP)ベンダか会計パッケージベンダと連絡をとり、支援を求めることが望ましい。ベンダが監査データ標準の適用に対して解決策を持たない場合、ベンダは監査データ標準にマッピングするために利用することができるスクリプトを作成しているため、それを使用してデータを抽出、変換、ロード(または ETL)する。

これらのデータ標準を導入する前に、職務分離のテストと内部統制の利用を通じてデータの信頼度が評価されるべきである。これらのタイプの評価基準を利用するためのガイダンスは [www.aicpa.org/AuditDataAnalytics](http://www.aicpa.org/AuditDataAnalytics) で入手可能である。

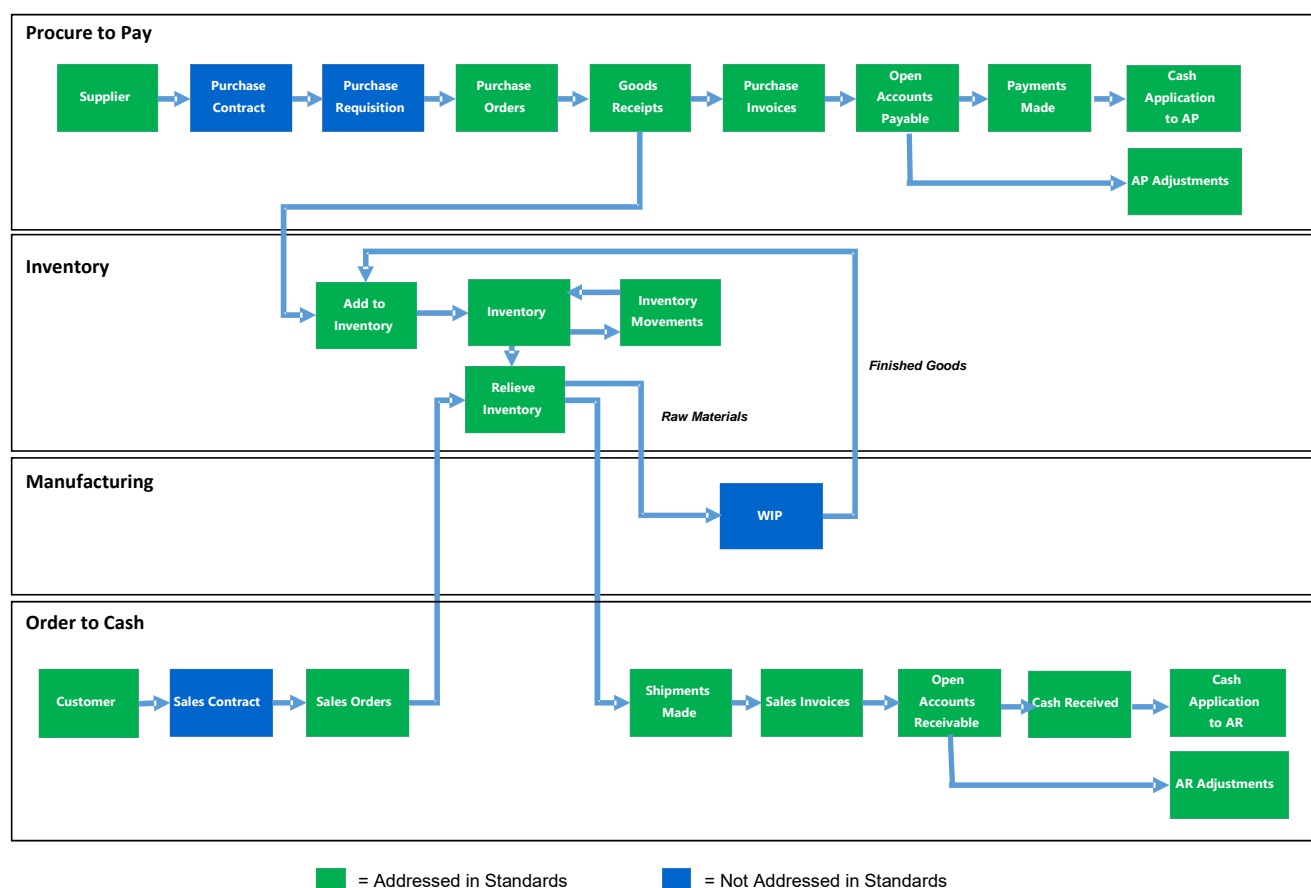
## 1.在庫元帳標準

この公表物では、基本的な在庫管理プロセスについての標準を提示する(生産および製造のプロセスについては、今後仕様を策定する予定である)。

在庫元帳監査データ標準は、在庫管理プロセスの基本的な分析に適用することを意図している。この標準は、内部プロセスを改善するために企業のスタッフおよび内部監査によって行なわれるかもしれない分析と同様に監査の一部として行なわれる分析を促進することを意図している。この標準の更新版では、さらに詳細かつ業種特有の内容が追加され、分析のための機会が拡大される可能性がある。

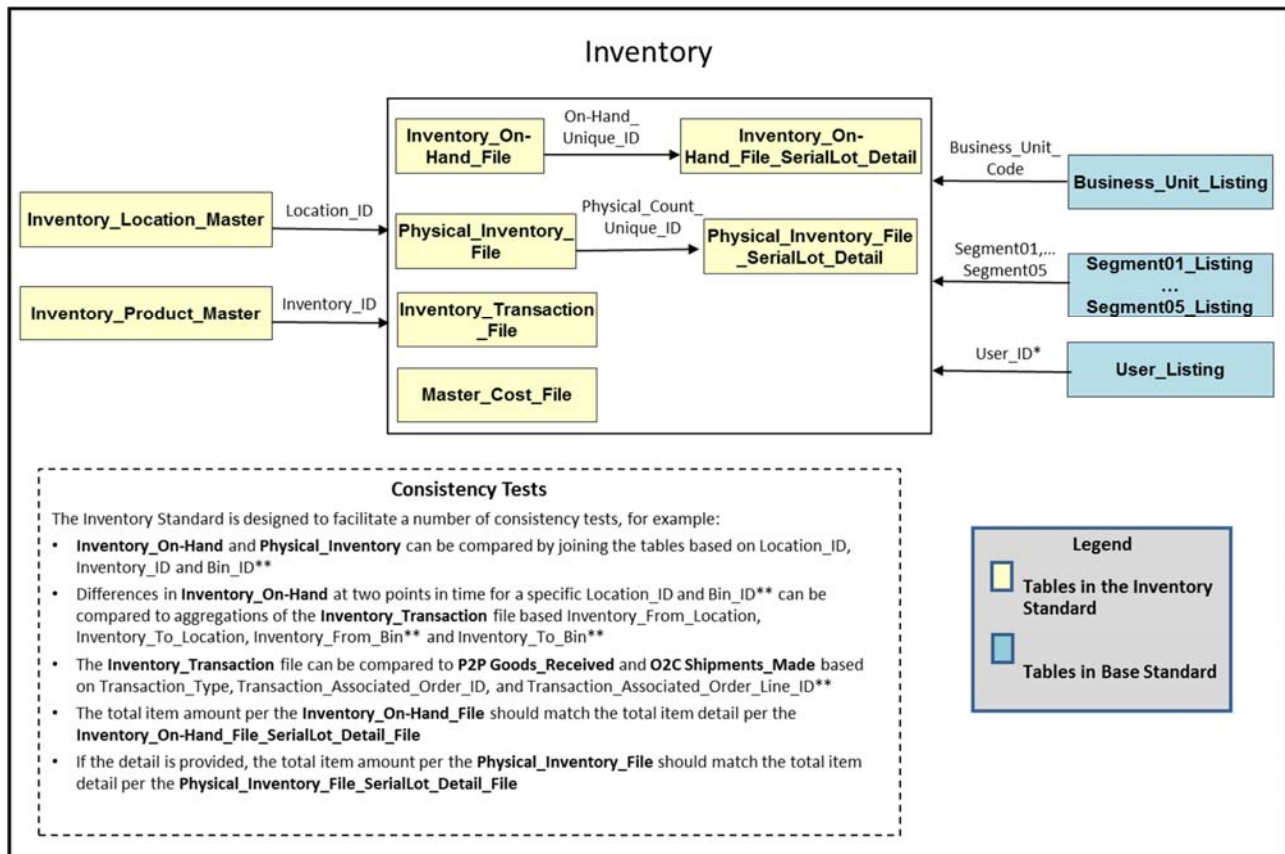
在庫管理はサプライチェーンに関連する複数の業務プロセスの一部である。図1はサプライチェーンのプロセスの概要である。この在庫管理監査データ標準と、それに関連する受注・入金(O2C)および仕入・支払(P2P)監査データ標準が対象とするサプライチェーンの各要素を示している。

図 1: 監査データ標準で提示されるサプライチェーンの各要素



在庫元帳標準の監査データは、関連情報を含んでいる多数のテーブルで定義される。図2は、在庫元帳標準のテーブル間の関係を示すデータ・ダイアグラムである。AICPAのウェブサイトにある[監査データ標準\(基礎編\)](#)と共に在庫元帳標準が使用されるべきであることに留意することが重要である。

図 2: 在庫元帳監査データ標準におけるテーブル間のデータの関係



\* The `User_Listing` table can be joined to three fields, all of which contain a user ID – `Entered_by`, `Approved_By`, `Last_Modified_By`  
 \*\* Optional field in the Inventory Standard

在庫元帳標準の各テーブル内にあるデータフィールドの「レベル」カラムには、データの重要性を示す「1」あるいは「2」のどちらか一方のラベルがある。第1レベルの項目は必須である (IT システムか追加の手段によって利用可能な場合)。第2レベルの項目は推奨されるが、必ずしも入手可能だとは限らないかもしれない。利用可能ではないフィールドは、IT 部門または管理者より別途指定されるべきである。

以下に続くセクションでは、在庫元帳監査データ標準の詳細を示す。

## 2.0 在庫の標準化データ<sup>2</sup>

2.1 Inventory\_Location\_Master\_File\_YYYYMMDD

2.2 Inventory\_Product\_Master\_File\_YYYYMMDD

2.3 Inventory\_On-Hand\_File\_File\_\_YYYYMMDD

2.4 Inventory\_On\_Hand\_File\_SerialLot\_Detail\_YYYYMMDD

2.5 Inventory\_Transaction\_File\_YYYYMMDD-YYYYMMDD

2.6 Physical\_Inventory\_File\_YYYYMMDD

2.7 Physical\_Inventory\_File\_SerialLot\_Detail\_YYYYMMDD

2.8 Material\_Cost\_File\_YYYYMMDD

---

<sup>2</sup> テーブルに2つの日付を含む場合、その日付は抽出期間の開始日と終了日を表すことに留意する。テーブルに1つの日付を含む場合、その日付はデータ抽出日である。



## 2.1 Inventory\_Location\_Master\_File\_YYYYMMDD

一般的な位置情報に関するファイルである。主に倉庫の場所や、製造場所、その他の在庫を管理し保管する場所を示すために使用される。通常は、企業の所在地(規制当局により別個の納税IDを付与される場合がある)を正式に指定するために使用し、位置情報に関する詳細や、倉庫、貯蔵庫などの物理的および論理的な位置情報を含めることができる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Location_ID	1	TEXT	75	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back.	組織を表す一意の識別子。Business_Unit_Code や Location_Code などの項目を連結する必要がある場合がある。
3	Location_Code	1	TEXT	25	gl-bus:organizationAddressLocationIdentifier	在庫保管場所を、組織レベルではなく、地域で識別するために使用するコード。
4	Location_Description	1	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressDescription	Location_Code で識別される位置情報についてのテキストによる説明。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
5	Location_Street	1	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressStreet	組織の所在地についての市町村以下の通り名や地区を特定するその他の識別情報。階数などの追加情報を含めてもよい。
6	Location_City	1	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressCity	位置情報の市町村名。
7	Location_State_Province	1	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressStateOrProvince	位置情報の主な地域名。名前およびコーディング規約には ISO 3166-2 を使用することを推奨。
8	Location_Country	1	TEXT	100	gl-bus:organizationAddressCountry	位置情報の国名。ISO 3166-1 アルファ-2 または ISO 3166-1 アルファ 3 形式(XX または XXX)を推奨。
9	Location_Zip_PostalCode	1	TEXT	25	gl-bus:organizationAddressZipOrPostalCode	位置情報の郵便番号。
10	Location_Active_Flag	1	BOOLEAN	5	gl-bus:organizationAddressActive	Y(アクティブ)または N(非アクティブ)。この値は、この位置情報が将来のレコードで参照可能かどうかを示す。
11	Location_Type	1	TEXT	12	gl-bus:organizationAddressPurpose	位置情報の用途(倉庫、製造フロア、出荷情報、仲介業者など)に関する自由形式の説明。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
12	Location_Parent	2	TEXT	25	Concatenate with content in gl-bus:organizationAddressDescription using a pipe ( ) separator using syntax <b>P:</b> gl-bus:organizationAddressLocationIdentifier	この報告(サブ)単位の親組織、またはその報告単位を含む組織(該当する組織がある場合)。この組織は、このファイル内にある有効な Location_Code エントリでなければならない。
13	Location_Longitude	2	NUMERIC		gh-ehm:geospatialCoordinate  Enter a relevant location for this item. Format can be either:  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Degrees, minutes, and seconds (DMS): 41°24'12.2"N 2°10'26.5"E</li> <li>• Degrees and decimal minutes (DMM): 41 24.2028, 2 10.4418</li> </ul> or  <ul style="list-style-type: none"> <li>• Decimal degrees (DD): 41.40338, 2.17403</li> </ul>	度分秒形式ではなく、小数点を含む値を使用して表現する経緯度。例えば、施設が「40° 45'31.7"N 73° 58'56.1"W」に位置する場合、「40° 45'31.7"N」は「40.758812」として入力される。
14	Location_Latitude	2	NUMERIC		See above: integrated into one field in XBRL GL.	度分秒形式ではなく、小数点を含む値を使用して表現する経緯度。上の例を使用すると、「73° 58'56.1"W」は「-73.982250」として入力される。
15	Third_Party_Facility	2	TEXT	25	gl-bus:amountMemo = "true"	第三者(所有者ではない)組織

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
						の所在地に置かれる在庫品を識別するために使用される(商品が第三者組織の所在地に保管されている場合は“true”を使用する。第三者組織の所在地に置かれていない場合は、“false”を使用する(または指定しない))。
16	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, gl-cor:accountSubDescription, and gl-cor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parentSubAccountType.	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。
17	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
18	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
19	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
20	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

### XBRL GLへの追加コメント

在庫保管場所マスターファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “master_file”	XBRL GLの列挙に従って、このファイルをマスターファイルとして明示的に定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Inventory_Location_Master_File_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.2 Inventory\_Product\_Master\_File\_YYYYMMDD

仕入状況、使用状況、販売プロセスによって在庫品およびその他の追跡商品の基本属性を記録する。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Inventory_Product_ID	1	TEXT	75	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Inventory_Item_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	一意の識別子。「Business_Unit_Code + Inventory_Item_Code」のような連結が必要な場合がある。
3	Default_Inventory_Method	2	TEXT	25	gl-ehm:costingMethodCode (enumerated) with values like LIFO, FIFO, tax_basis, book_basis and gl-ehm:costingMethodDescription (freeform)	LIFO、FIFO、平均法、標準原価法、個別法などの棚卸資産に対する評価方法の説明
4	Preferred_Vendor	2	TEXT	100	gl-cor:identifierCode for internal # with gl-cor:identifierType = "vendor"	優先ベンダ。過去の実績における信頼性や品質、配送や価格を含む有利な条件、個別の顧客依頼、またはその他の取引条件や理由などを含む可能性がある契約上または実務上の理由により、この商品の第1調達元として、組織により指定されたベンダ。 Supplier_Listing_YYYYMMDD にある既存の

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント				
						Supplier_Account_ID と一致しなければならない。				
5	Inventory_Item_Code	1	TEXT	25	gl-bus:measurableID where gl-bus:measurableCode = "IN"	この商品を追跡するためのローカルレベルの内部 ID。				
6	Inventory_Description	1	TEXT	100	gl-bus:measurableDescription	商品の説明。				
7	Inventory_Bar_Code	2	TEXT	25	gl-bus:measurableIDOther	UPC やその他の外部の識別コード。第 1 ベンダの製品コードなど				
8	Product_Group_01	2	TEXT	25	gl-bus:measurableCategory	商品説明(番号#1)。例えば、タイヤやアクセサリなど。				
9	Product_Group_02	2	TEXT	25	Add as subcategory to gl-bus:measurableCategory using pipe ( ) delimiter.	商品説明(番号#2)。例えば、銘柄など。				
10	Inventory_Class	1	TEXT	25	gl-ehm:measurableClassID (enumerated) to include codes from Inv and PPE (for example, raw material, WIP, finished goods, land, building, F&, etc.), gl-ehm:measurableClassDescription (freeform)	<p>在庫品や、在庫がある消耗品や部品を分類する方法は数多く存在する。一般的な分類としては、生産サイクル(原料、仕掛品、部品、完成品)における経済的価値を認識するために必要な情報が記載された貸借対照表/開示情報の内訳、再販のために直接仕入れられた商品、管理・修理・運用目的の在庫品などがある。被監査企業と監査人が、使用する分類方法を合意によって決めることができる一方で、次に提示される項目では経済的価値の実現化の認識を自動化できる。</p> <table border="1" data-bbox="1496 1353 1839 1482"> <thead> <tr> <th>クラス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Assembly</td> <td>部品</td> </tr> </tbody> </table>	クラス	説明	Assembly	部品
クラス	説明									
Assembly	部品									

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント		
						Finished_Goods	完成品の在庫	
						Purchased_for_Resale	再販のために仕入れられた在庫品	
						Raw_Materials	原料の在庫	
						Supplies	消耗品	
						Work_In_Process	仕掛品の在庫	
11	Serial_Number	2	BOOLEAN	5	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field. For <b>serial</b> only, select “serial” from gl-ehm:serialLotCode (enumerated: serial, lot, other, neither) and leave gl-ehm:serialLotDescription (freeform) blank. For both serial and lot tracked, use “other” from gl-ehm:serialLotCode and enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription	シリアル番号によって追跡される。true または false。		
12	Lot_Number	2	BOOLEAN	5	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field. For <b>lot</b> only, select “lot” from gl-	ロット番号により追跡される。true または false。		



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					ehm:serialLotCode (enumerated: serial, lot, other, neither) and leave gl-ehm:serialLotDescription (freeform) blank. For both serial and lot tracked, use "other" from gl-ehm:serialLotCode and enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription	
13	Default_Stocking_Unit_of_Measure	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure with gl-bus:Qualifier = "stocking"	在庫品が通常追加される計量単位。
14	General_Ledger_Asset_Account	2	TEXT	100	Associate with <i>account</i> structure (first) where account content is stored in gl-cor:accountMainID and identified as <i>asset</i> using gl-cor:mainAccountType	貸借対照表の計上額が確認される GL 勘定科目番号。例えば、「原料」勘定科目の識別子など。
15	General_Ledger_Cost_Account	2	TEXT	100	Associate with <i>account</i> structure (second) where account content is stored in gl-cor:accountMainID and identified as <i>expense</i> using gl-cor:mainAccountType	損益計算書の計上額が確認される GL 勘定科目番号。例えば、「売上原価」勘定科目の識別子など。
16	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parentSubAccountType (What is the hierarchy type this unit rolls	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					up to?)	
17	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
18	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
19	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
20	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

#### XBRL GLへの追加コメント

製品在庫マスターファイルの場合、追加の必須または推奨フィールドには次が含まれる。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = "master_file"	XBRL GLの列挙に従って、このファイルをマスターファイルとして明示的に定義している。
gl-cor:entriesComment	value = "ads:Inventory_Product_Master_File_YYYYMMDD"	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.3 Inventory\_On-Hand\_File\_YYYYMMDD

特定の日付時点での商品の手持ち在庫量を、保管場所と量で記録する。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Unique_ID	1	TEXT	75	For XBRL GL, this isn't a single field; use the individual fields (1, 3, 4) XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files) and use XML's id and idref to create the physical link from detail to summary structures.	一意のコード。Business_Unit_Code、Inventory_Identifier、Location_ID と連結する場合がある。
3	Inventory_Product_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Inventory_Item_Code's XBRL GL concepts to tie back	Inventory_Product_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエン트리である必要がある。
4	Location_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Location_File_YYYYMMDD 内の有効なエン트리である必要がある。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
5	Inventory_Held_For_Vendors	2	BOOLEAN	5	gl-bus:measurableCodeDescription = "vendor"	物理的に存在するが、ベンダ向けに保管されている在庫を識別するために使用する。true または false。
6	Inventory_Held_For Customers	2	BOOLEAN	5	gl-bus:measurableCodeDescription = "customer"	物理的に存在するが、顧客向けに保管されている在庫を識別するために使用する。true または false。
7	Inventory_Held_For_Others	2	BOOLEAN	5	gl-bus:measurableCodeDescription = "other"	物理的に存在するが、顧客やベンダ向けではない用途で保管されている在庫を識別するために使用する。true または false。
8	Obsolete_or_Damaged_Inventory	2	TEXT	25	gl-cor:postingStatusDescription = "slow moving", "damaged" or "obsolete"	売れ行きが悪いか、損傷があるか、廃版となった在庫品の量を識別する補助をする。「slow moving」、「damaged」、または「obsolete」のいずれかを入力する。
9	Bin_ID	2	TEXT	25	Use ID and location from location file ... gl-bus:organizationAddressLocationIdentifier	代替保管場所の識別子(オプション)。システムで使用されるコード。
10	Bin_Location	2	TEXT	50	gl-bus:organizationAddressDescription	代替保管場所の識別子(オプション)。システムで使用される保管場所の説明。
11	Quantity	1	NUMERIC		gl-bus:measurableQuantity	Inventory_Stocking_UOM で表現される数量。
12	Inventory_Purchasing_UOM	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure with gl-bus:measurableQualifier = "purchasing"	商品が組織に仕入れられる際の主な計量単位。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
13	Inventory_Stocking_UOM	1	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure with gl-bus:measurableQualifier = "stocking"	保管在庫に使用される数量に関連する計量単位。
14	Inventory_Selling_UOM	2	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure with gl-bus:measurableQualifier = "selling"	販売によって組織から商品が出ていく際の主な計量単位。
15	Inventory_Cost_Method	1	TEXT	25	gl-ehm:costingMethodCode	LIFO、FIFO、平均法、標準原価法、個別法などの棚卸資産に対する評価方法の説明
15.5	Inventory_Cost	1	NUMERIC		gl-bus:measurableCostPerUnit	フィールド Inventory_Cost_Method にある手法を使用した単位あたりの価格。
16	Standard_Cost	2	NUMERIC		gl-bus_measurableCostPerUnit with gl-bus:measurableQualifier = "standard"	保有する場合、単位あたりの標準価格。
17	Average_Cost	2	NUMERIC		gl-bus_measurableCostPerUnit with gl-bus:measurableQualifier = "average"	保有する場合、単位あたりの平均価格。
18	Specific_Cost	2	NUMERIC		gl-bus_measurableCostPerUnit with gl-bus:measurableQualifier = "specific"	保有する場合、単位あたりの特別価格。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント
19	Quantity_On_Hand_System	1	NUMERIC	gl-bus:measurableQuantity	システムごとの最終実地棚卸時の数量、または計算された実際の数量。
20	Quantity_On_Hand_Physical_Count	2	NUMERIC	XBRL GL supports physical counts by using gl-cor:documentType = other and gl-cor:documentTypeDescription = physical_count and putting counts in gl-bus:measurableQuantity rather than providing in the local file. The physical count at a last date is not relevant to the current count of the system.	実地棚卸ごとの最新実地棚卸時の実際の数量。
21	Last_Count_Date	2	DATE	See above: gl-cor:documentDate associated with above.	最新の実地棚卸の日付。
22	Inventory_List_Price	2	NUMERIC	gl-bus_measurableCostPerUnit with gl-bus:measurableQualifier = "standard_price"	希望小売価格のリスト。
23	Inventory_Purchase_Year_To_Date	2	NUMERIC	gl-bus:measurableQuantity with gl-bus:measurableQualifier = "pytd"	期首から現時点までには、この場所で仕入れられた数量。
24	Inventory_Sold_Year_To_Date	2	NUMERIC	gl-bus:measurableQuantity with gl-bus:measurableQualifier =	期首から現時点までには、この場所から販売された数量。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント	
				"pytd"		
25	Inventory_ABC_Code	2	TEXT	gl-bus:allocationCode	選定された在庫管理に対するマルコフ連鎖の法則に従った、この商品の重要性や、ドル価格、またはその他の評価基準を表すコード。選定された在庫管理とは、商品の 20%が価値またはリスクの 80%を負っているような場合である。A は、上位 20%の商品が 80%のリスクを担っている。B は、次の 30%の商品が 15%のリスクを担っている。C は、残りの 50%の商品が 5%のリスクだけを担っている。	
26	Primary_Vendor	2	TEXT	100	gl-cor:identifierCode for internal # with gl-cor:identifierType = "vendor"	Vendor_Account_ID からの値。
27	Primary_Vendor_Product_Code	2	TEXT	25	gl-bus:measurableIDOther with gl-bus:measurableQualifier = "vendor"	ベンダから注文する場合に使用する商品番号。
28	Primary_Manufacturer	2	TEXT	100	gl-cor:identifierCode with gl-cor:identifierType = "other" and gl-bus:identifierPurpose = "manufacturing"	製品の製造元についての自由形式の説明。
29	Primary_Manufacturer_Product_Code	2	TEXT	25	gl-bus:measurableIDOther with gl-bus:measurableQualifier = "manufacturer"	商品、カタログ、または特定製造元での識別子。
30	Location_Currency	1	TEXT	3	gl-muc:amountOriginalCurrenc	現地通貨の ISO4217 コード。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					y	
31	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parentSubAccountType (What is the hierarchy type this unit rolls up to?)	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。
32	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
33	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
34	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
35	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上



## XBRL GLへの追加コメント

手持ち在庫リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “assets”	XBRL GLの列挙に従って、手持ち在庫の一覧としてこれを定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Inventory_On-Hand_File_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.4 Inventory\_On\_Hand\_File\_SerialLot\_Detail\_YYYYMMDD

Inventory\_On\_Hand\_File\_YYYYMMDD は、サマリテーブル内で Unique\_ID を使用して Inventory\_On\_Hand\_YYYYMMDD テーブルにリンクされるサブテーブルである。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	On-Hand_Unique_ID	1	TEXT	75	Rather than use a data field, use XML's id and idref to create the physical link from detail to summary structures.	Inventory_On-Hand_File_YYYYMMDD 内の関連するレコードへのポインタである。これは保管場所、商品、保管場所での配置、計量単位、価格などを参照するポインタである。
3	Detail_Unique_ID	1	TEXT	75	Use XML's id on the top level of the structure.	このレコードを表す一意のキー。
4	Quantity	1	NUMERIC		gl-ehm:serialLotQuantity	シリアル番号がある商品の場合、この値は「1」で計量単位は「Each」である。ロット番号がある商品の場合、この値は、適切な計量単位を持つ 0 以上の 10 進値になる。
5	Serial Number	1	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot. If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	シリアル番号がある商品の場合、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通語だが、その値は数値とは限らない。ある商品で明白に識別するシリアル番号とロット番号のどちらでも管理することは一般的ではないが、相互に排他的である必要もない。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GLタクソノミ要素	コメント
6	Lot Number	1	TEXT 75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot. If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その値は数値とは限らない。
7	Expiration_Date	1	DATE	gl-ehm:serialLotExpiration	ロットの価値が失われるか、有効期限が切れる ISO 8601 表記の日付/時間。
8	コメント	2	TEXT 100	gl-ehm:serialLotComment	シリアル番号/ロット番号を持つこの商品に関連付けられる自由形式のテキスト
9	Ownership	2	TEXT 30	gl-ehm:serialLotDescription	この品目は商品であるか、または他者向けに保管されているかを追跡する(例: 委託販売)。
10	Date of last movement	2	DATE	gl-ehm:serialLotOrigination	最新の商品搬入日または搬出日を表す ISO 8601 形式の日付。

## XBRL GLへの追加コメント

手持ち在庫ファイルのシリアル番号詳細のうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “assets”	XBRL GLの列挙に従って、手持ち在庫の一覧としてこれを定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Inventory_On-Hand_File_Serial_Detail_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.5 Inventory\_Transaction\_File\_YYYYMMDD-YYYYMMDD

指定された期間中の在庫の勘定科目に影響がある、すべての取引履歴(例えば、領収書、出荷、転送、返却、調整に関する情報など)を記録する。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント				
			データ型	長さ						
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。				
2	Inventory_Product_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Inventory_Item_Code's XBRL GL concepts to tie	Inventory_Product_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。				
3	Transaction_Type	2	TEXT	25	gl-cor:documentTypeDescription with gl-cor:documentType of <i>other</i> unless a receipt or shipment, in which case gl-cor:documentType of <i>receipt</i> or <i>shipment</i>	<p>市場要因や商品の損傷を原因として、取引に関連する商品の移動や、社内の業務イベントによる数量調整、価格の調整に関連する、在庫管理業務で行われる在庫特有の重要な措置の場合、異なるソフトウェア製品には異なるコードと説明が使用される。被監査企業と監査人が、コードと説明に在庫数量と価格への影響を記載することを合意によって決めることができる一方で、次に提示される項目は自動化された項目として提供できる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Damage</td> <td>商品の老朽化が認められることによって減少した数量。数量は正数で入力される</td> </tr> </tbody> </table>	値	説明	Damage	商品の老朽化が認められることによって減少した数量。数量は正数で入力される
値	説明									
Damage	商品の老朽化が認められることによって減少した数量。数量は正数で入力される									

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント	
					Increase_Due_To_Revaluation	再評価による上昇価格。
					Lower_Of_Cost_or_Market_Realization	費用の削減または市場評価による価格の低下。価格変動は正数で入力される
					Moved_From_Production	原料が生産場所に移動したことによって減少した数量。数量は正数で入力される
					Moved_To_Production	原料が生産場所から倉庫に移動したことによって増加した数量。数量は正数で入力される
					Obsolete	商品の老朽化が認められることによって減少した数量。数量は正数で入力される
					Physical_Count_Adjustment	実地棚卸の結果として変動した数量。システムの値よりも大きい場合は正数で入力される。システムの値よりも小さい場合

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント	
						は、負数で入力される。
					Receipt	在庫品を受領したことによって増加した数量。数量は正数で入力される。
					Return	在庫品が返却されたことによって増加した数量。数量は正数で入力される。
					Scrapped	在庫品が廃棄されたことによって減少した数量。数量は正数で入力される。
					Shipment	在庫品が販売または組織外に輸送されたことによって減少した数量。数量は正数で入力される。
					Transfer	在庫場所間で輸送されたことによって増加または減少した数量。搬入された場合は正数、搬出された場合は

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					負数で入力する
4	Transaction_Type_System	1	TEXT		Concatenate into gl-cor:documentTypeDescription with above enumeration/value 会計ソフトウェアシステムで使用するローカルな取引コード。
5	Transaction_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate 関連する取引文書ごとの活動の日付(該当するものがある場合)
6	Transaction_Time	1	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601 関連する取引文書ごとの活動の時間(該当するものがある場合)
7	Transaction_Quantity	1	NUMERIC		gl-bus:measurableQuantity 保管場所での保管単位で表された数量または影響を受ける項目
8	Transaction_Cost_Adjustment	2	NUMERIC		gl-bus_measurableCostPerUnit with gl-bus:measurableQualifier = "standard_delta" or "average_delta" or "specified_delta" or lifo_delta" etc 2.3 Inventory_On-Hand_File_YYYYMMDD のテーブルのフィールド Inventory_Cost_Method で表される在庫管理費の単位ごとの増加(減少)
9	Transaction_Description	1	TEXT	100	gl-cor:detailComment 取引の説明
9.5	Source_Ledger_Transaction_Associated_Order_ID	2	TEXT	100	gl-cor:documentType using appropriate enumeration for source, such as "order-customer" or "order-vendor." 受注・入金または仕入・支払の監査データ標準のいずれかに関連付けられる取引 ID。
10	Transaction_Associated_Order_ID	1	TEXT	100	gl-cor:originatingDocumentNumber 顧客注文書、(ベンダ)仕入注文書、または該当する取引に関連付けられるその他の文書。テキスト「P2P」または「O2C」をそれぞれ使用して、Transaction_Associated_Order_Line_ID 内での番号が受注・入金または仕入・支払のどちらの監査データ標準で使用されているものを明記すべきである。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
11	Transaction_Associated_Order_Line_ID	1	TEXT	100	gl-cor:lineNumber	顧客注文、(ベンダ)仕入注文の明細項目番号で、1つの注文内で数量が異なる項目が複数ある場合を区別する。テキスト「P2P」または「O2C」をそれぞれ使用して、Transaction_Associated_Order_Line_ID 内での番号が受注・入金または仕入・支払のどちらの監査データ標準で使用されているものかを明記すべきである。
12	Transaction_Associated_Document_ID	1	TEXT	100	gl-cor:originatingDocumentNumber with gl-cor:originatingDocumentType = another other suitable enumeration	商品の移動時または移動に伴って作成される梱包商品明細書、出荷通知書などの文書。テキスト「P2P」または「O2C」をそれぞれ使用して、Transaction_Associated_Order_Line_ID 内での番号が受注・入金または仕入・支払のどちらの監査データ標準で使用されているものかを明記すべきである。
13	Transaction_Associated_Document_Line_ID	1	TEXT	100	gl-cor:lineNumber	顧客注文以外、または「ベンダ」仕入注文の文書で使用される明細行番号。テキスト「P2P」または「O2C」をそれぞれ使用して、Transaction_Associated_Order_Line_ID 内での番号が受注・入金または仕入・支払のどちらの監査データ標準で使用されているものかを明記すべきである。
14	Inventory_From_Location	1	TEXT	25	On negative side of transaction, For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Location_File_YYYYMMDD のエントリと一致する必要がある。
15	Serial_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot. If both are required, the lot	シリアル番号がある商品の場合は、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。ある商品で明白に識別するシリアル番号とロット番号のどちらでも管理すること

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	は一般的ではないが、相互に排他的である必要もない。
16	Lot_Number	2	TEXT	75	gl-ehm:serialLotNumber is used for either the serial or the lot number, and driven by the attributes of serial or lot. If both are required, the lot number is placed in gl-ehm:nextSerialLotNumber.	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その価格は数値とは限らない。
17	Inventory_To_Location	1	TEXT	25	On positive side of transaction, For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	<b>在庫の移動</b> に必要な項目。 Inventory_Location_File_YYYYMMDD のエントりに一致する必要がある。
18	Inventory_System_Or_External_Source	1	TEXT	1	gl-cor:invoiceType where ePos means system and self-billed means manual.	その他の ADS モジュール(例えば P2P や O2C など)から発生した場合か、または在庫内で発生した取引に関連付けられるエントりの情報を表すために使用する。在庫内で発生した場合は、ユーザおよび GL の情報を記録するために以下のフィールドが使用される。  在庫管理システムの場合は「I」 外部ソースの場合は「E」
19	Inventory_Transaction_Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:enteredBy	記録を残した人の(User_Listing ファイル内の)User_ID。
20	Inventory_Transaction_E	2	DATE		gl-cor:enteredDate	取引がシステムに入力された日付。これは、時に作成

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
	ntered_Date					日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
21	Inventory_Transaction_Entered_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
22	Inventory_Transaction_Approved_By	2	TEXT	100	gl-bus:entryResponsiblePerson	変更を承認した人の(User_Listing ファイル内の)User_ID。
23	Inventory_Transaction_Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力承認された日付。
24	Inventory_Transaction_Approved_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力承認された時間。ISO 8601 表記の 24 時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
25	Inventory_Transaction_Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listing の)User_ID。
26	Inventory_Transaction_Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
27	Inventory_Transaction_Last_Modified_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力が最後に変更された時間。ISO 8601 表記の 24 時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
28	Inventory_GL_Line_Debit_Account_Number	1	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with gl-cor:accountPurposeDescription = "debit-value" in a second account  structure (Note: XBRL GL permits an unlimited number of accounts or values with a	取引において借方に記帳された GL 勘定科目の番号。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					transaction, and is not limited to a single debit or credit value)	
29	Inventory_GL_Line_Credit_Account_Number	1	TEXT	100	gl-cor:accountMainID with gl-cor:accountPurposeDescription = "credit-value" in a second account structure (Note: XBRL GL permits an unlimited number of accounts or values with a transaction, and is not limited to a single debit or credit value)	取引において貸方に記帳された GL 勘定科目の番号。
30	Segment_01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parenSubAccountType.	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。
31	Segment_02	2	TEXT	25	上記参照	同上
32	Segment_03	2	TEXT	25	上記参照	同上
33	Segment_04	2	TEXT	25	上記参照	同上
34	Segment_05	2	TEXT	25	上記参照	同上

## XBRL GLへの追加コメント

在庫取引リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “other”	[entriesType]は必須フィールドである。[other]は列挙型の値である。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Inventory_Transaction_File_YYYYMMDD-YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.6 Physical\_Inventory\_File\_YYYYMMDD

実地棚卸実施時の手持ちの在庫量。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Inventory_Product_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Inventory_Item_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Product_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
3	Location_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Location_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
4	Bin_ID	2	TEXT	25	Use ID and location from location file ... gl-bus:organizationAddressLocationIdentifier	代替保管場所の識別子(オプション)。システムで使用されるコード。
5	Count_Date	1	DATE		gl-cor:documentDate with gl-cor:documentType = other and gl-cor:documentTypeDescription = physical_count	実地棚卸の日付。
6	Inventory_Stocking_UOM	1	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitOfMeasure with gl-bus:measurableQualifier =	保管在庫に使用される数量に関連する計量単

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント	
				"stocking"	位。	
7	Quantity_On_Hand_System	1	NUMERIC	gl-bus_measurableQuantity with gl-bus:measurableQualifier "system"	システムごとの最新実地棚卸時の実際の数量。	
8	Quantity_On_Hand_Physical_Count	1	NUMERIC	gl-bus_measurableQuantity	実地棚卸ごとの最新実地棚卸時の実際の数量。	
9	Entered_By	1	TEXT	100	gl-cor:enteredBy	実地棚卸を行った人の User_ID (User_Listing_File 内)。
10	Entered_Date	2	DATE		gl-cor:enteredDate	注文がシステムに入力された日付。これは、時に作成日と呼ばれる。可能な場合、これは、(ユーザが入力した日付ではなく)システムで生成された日付にする必要がある。この日付は、必ずしも、実際の取引の日付に対応していない。
11	Entered_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	この取引をシステムに入力した時間。ISO 8601 - 24 時間制の時刻(HHMM)(例えば、PM1:00 = 1300)で表す。
12	Approved_By	2	TEXT	100	gl-bus:entryResponsiblePerson	顧客マスタの追加や変更の承認者の(User_Listing ファイルの)ユーザ ID。
13	Approved_By_Date	2	DATE		gl-usk:nextDateRepeat	入力が承認された日付。
14	Approved_By_Time	2	TIME		Incorporated into above field using ISO 8601	入力が承認された時間。ISO 8601 表記の 24 時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
15	Last_Modified_By	2	TEXT	100	gl-bus:enteredByModified	この入力を最後に修正したユーザの(User_Listing の)User_ID。
16	Last_Modified_Date	2	DATE		gl-usk:lastDateRepeat	入力が最後に変更された日付。
17	Last_Modified_Time	2	TIME		Incorporated into above field using	入力が最後に変更された時間。ISO 8601 表記の

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント
				ISO 8601	24 時間制の時刻(HHMM) (例: PM1:00 = 1300)。
18	Comment	1	TEXT	100 gl-cor:detailComment	数量、不一致などのその他の記録情報に対するコメント
19	Location_Longitude	2	NUMERIC	gh-ehm:geospatialCoordinate  Enter a relevant location for this item. Format can be either:  • Degrees, minutes, and seconds (DMS): 41°24'12.2"N 2°10'26.5"E  • Degrees and decimal minutes (DMM): 41 24.2028, 2 10.4418  Or  • Decimal degrees (DD): 41.40338, 2.17403	度分秒形式ではなく、小数点を含む値を使用して表現する経緯度。例えば、施設が「40° 45'31.7"N 73° 58'56.1"W」に位置する場合、「40° 45'31.7"N」は「40.758812」として入力される。
20	Location_Latitude	2	NUMERIC	See above: integrated into one field in XBRL GL.	度分秒形式ではなく、小数点を含む値を使用して表現する経緯度。上の例を使用すると、「73° 58'56.1"W」は「-73.982250」として入力される。
21	Obsolete_or_Damaged_Inventory	2	TEXT	25 gl-cor:postingStatusDescription = "slow moving", "obsolete" or "damaged"	売れ行きが悪いか、損傷があるか、廃版となった在庫品の量を識別する補助をする
22	Segment_01	2	TEXT	25 XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and	プロフィット・センター、部門、ファンド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。



フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					glcor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by glcor:parentSubAccountType (What is the hierarchy type this unit rolls up to?)	
23	Segment_02	2	TEXT	25	上記参照	同上
24	Segment_03	2	TEXT	25	上記参照	同上
25	Segment_04	2	TEXT	25	上記参照	同上
26	Segment_05	2	TEXT	25	上記参照	同上

### XBRL GL への追加コメント

実地棚卸リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “assets”	XBRL GLの列挙に従って、実地棚卸の一覧としてこれを定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Physical_Inventory_File_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.7 Physical\_Inventory\_File\_SerialLot\_YYYYMMDD

Physical\_Inventory\_File\_YYYYMMDD サブテーブルでは、はじめの 3 つのフィールド(Business\_Unit\_Code、Inventory\_Product\_ID、Location\_ID)全体に一意のレコードを追加することで、シリアル/ロットによる追跡が容易になる。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GLタクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit_Code	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Physical_Count_Unique_ID	1	TEXT	75	Rather than use a data field, use XML's id and idref to create the physical link from detail to summary structures.	Physical_Inventory_File_YYYYMMD 内の関連レコードへのポイント。
3	Detail_Unique_ID	1	TEXT	75	Use XML's id on the top level of the structure.	この記録を表す一意のキー。
4	Quantity_Counted	1	NUMERIC		gl-ehm_SerialLotQuantity with gl-bus:measurableQualifier "system"	シリアル番号がある商品の場合、この値は「1」で計量単位は「Each」である。ロット番号がある商品の場合、この値は、適切な計量単位を持つ 0 以上の 10 進値になる。
5	Quantity_per_System	1	NUMERIC		gl-ehm_serialLotQuantity	
6	Serial Number	1	TEXT	75	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field. For <b>serial</b> only, select "serial" from gl-ehm:serialLotCode (enumerated: serial, lot, other, neither)and leave gl-ehm:serialLotDescription	シリアル番号がある商品の場合、シリアル番号はここに記録される。シリアル番号は共通用語だが、その値は数値とは限らない。ある商品で明白に識別するシリアル番号とロット番号のどちらでも管理することは一般的ではないが、相互に排他的である必要もない。

フィールド	フィールド名	レベル	フラットファイル データ	XBRL GLタクソノミ要素	コメント	
				(freeform) blank. For both serial and lot tracked, use "other" from gl-ehm:serialLotCode and enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription		
7	Lot Number	1	TEXT	75	For XBRL GL, Serial Number and Lot Number are not two separate Boolean fields, but a selection from an enumerated value and an associated freeform field. For <b>lot</b> only, select "lot" from gl-ehm:serialLotCode (enumerated: serial, lot, other, neither) and leave gl-ehm:serialLotDescription (freeform) blank. For both serial and lot tracked, use "other" from gl-ehm:serialLotCode and enter SerialAndLot for gl-ehm:serialLotDescription	ロット番号を表す場合は、ロット番号はここに記録される。ロット番号は共通用語だが、その値は数値とは限らない。
8	コメント	2	TEXT	100	gl-ehm:serialLotComment	シリアル番号/ロット番号を持つこの商品に関連付けられる自由形式のテキスト

## XBRL GL への追加コメント

実地棚卸リストのシリアル/ロット詳細のうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “assets”	XBRL GLの列挙に従って、実地棚卸の一覧としてこれを定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Physical_Inventory_File_SerialLot_Detail_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。

## 2.8 Material\_Cost\_File\_YYYYMMDD

これは、在庫商品に関連付けられた標準的な費用の構成要素(原料や製品の仕入に関連する費用を含む)を記録する任意のテーブルである。

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
			データ型	長さ		
1	Business_Unit	1	TEXT	50	gl-cor:accountSubID with glcor:accountSubType of "Business_Unit"	財務諸表が監査されているレベルで事業単位、地域、支店などを識別するために利用される。 Business_Unit_Listing ファイル内の Business_Unit_Code と一致しなければならない。
2	Inventory_Product_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Inventory_Item_Code's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Master_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
3	Location_ID	1	TEXT	25	For XBRL GL, this isn't a single field; use the Business_Unit_Code and Location_ID's XBRL GL concepts to tie back (need to consider interrelationships with other files)	Inventory_Location_File_YYYYMMDD 内の有効なエントリである必要がある。
4	Costing_Type	1	TEXT	25	gl-cor:accountMainDescription and gl-cor:accountType of measurable	原価計算表(売上原価、在庫評価、製造原価)を識別するために使用される
5	Total_Cost	1	NUMERIC		gl-cor:amount	標準的な総費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費)

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ	XBRL GL タクソノミ要素	コメント
					+その他)を識別するために使用される。
6	Other_Cost_1	2	NUMERIC	gl-cor:amount associated with gl-cor:accountSubID of 001	標準的な特定費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費 + その他)を識別するために使用される。「4.0 在庫管理 質問事項」項の質問 8 を参照
7	Other_Cost_2	2	NUMERIC	gl-cor:amount associated with gl-cor:accountSubID of 002	標準的な特定費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費 + その他)を識別するために使用される。「4.0 在庫管理 質問事項」項の質問 8 を参照
8	Other_Cost_3	2	NUMERIC	gl-cor:amount associated with gl-cor:accountSubID of 003	標準的な特定費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費 + その他)を識別するために使用される。「4.0 在庫管理 質問事項」項の質問 8 を参照
9	Other_Cost_4	2	NUMERIC	gl-cor:amount associated with gl-cor:accountSubID of 004	標準的な特定費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費 + その他)を識別するために使用される。「4.0 在庫管理 質問事項」項の質問 8 を参照
10	Other_Cost_5	2	NUMERIC	gl-cor:amount associated with gl-cor:accountSubID of 005	標準的な特定費用の構成要素(例: 原材料費 + 運送費 + 人件費 + 在庫管理費 + その他)を識別するために使用される。「4.0 在庫管理 質問事項」項の質問 8 を参照

フィールド番号	フィールド名	レベル	フラットファイルデータ		XBRL GL タクソノミ要素	コメント
11	Stocking_Unit_of_Measure	1	TEXT	25	gl-bus:measurableUnitofMeasure	保管された商品を追跡するために使用する商品の計量単位(例: ブッシュェル、バレル、ポイント)
12	Valid_From_Date	1	DATE		gl-bus:measurableStartDateTime	商品に対する費用が有効になった日。
13	Valid_To_Date	1	DATE		gl-bus:measurableEndDateTime	商品に対する費用の有効期限が切れた日。
14	Valuation_Date	2	DATE		gl-cor:confirmedDate	費用の最終更新日。値がない場合は、Valid_to_Date フィールドが使用される。
15	Segment01	2	TEXT	25	XBRL GL tracks hierarchy ID, hierarchy description, and hierarchy type, so it can track code NA, description N. America, and type global area using gl-cor:accountSubID, glcor:accountSubDescription, and glcor:accountSubType, respectively. Interrelations and hierarchies are captured by gl-cor:parentSubAccountType (What is the hierarchy type this unit rolls up to?)	プロフィット・センター、部門、ブランド、プログラム、支店、プロジェクトなどのために使用することができる予約されたセグメントフィールド。
16	Segment02	2	TEXT	25	上記参照	同上
17	Segment03	2	TEXT	25	上記参照	同上
18	Segment04	2	TEXT	25	上記参照	同上
19	Segment05	2	TEXT	25	上記参照	同上

## XBRL GLへの追加コメント

原材料費リストのうちで追加的に必須若しくは望ましいフィールドは次のとおりである。

要素	内容	コメント
gl-cor:entriesType	value = “assets”	XBRL GLの列举に従って、原材料費の一覧としてこれを定義している。
gl-cor:entriesComment	value = “ads:Material_Cost_File_YYYYMMDD”	[entriesComment]はこの項目の情報集合で共通しているものを説明する説明フィールドである。この情報集合のタイプを表す監査データ標準の名前空間と修飾子を使用して、ここでの表記と関連付けている。



### 3.0 在庫元帳標準データプロファイリングレポート

抽出されるデータの各セットについては、次のテストがデータプロバイダによって行なわれ、監査人によって独立して確認されるべきである。妥当性検証は、データが要求される各期間の間で行なわれるべきである。データの妥当性検証には下記が含まれる。

テスト	説明
日付とコントロールトータル	
<b>Required files(要求されているファイル)</b>	要求されたすべてのファイルおよびデータフィールドが提供されていることを確認する。
<b>Date ranges(日付範囲)</b>	次の日付における最小値および最大値。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Inventory_Transaction_File_YYYYMMDD-YYYYMMDD <ul style="list-style-type: none"> <li>- Transaction_Date</li> <li>- Entered_Date</li> </ul> </li> </ul>
<b>Control totals(コントロールトータル)</b>	次の場合におけるレコード数と金額フィールドの合計。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Inventory_On-Hand_File_YYYYMMDD</li> <li>Inventory_Transaction_File_YYYYMMDD-YYYYMMDD</li> <li>Physical_Inventory_File_YYYYMMDD</li> </ul>
完全性と在庫のロールフォワード	
<b>Inventory roll-forward(在庫ロールフォワード)</b>	すべての在庫管理商品を会計年度の期初から該当期間の期末までロールフォワードする。 報告期間の期初のInventory_On-Hand_File(例: Inventory_On-Hand_File_20XX0101)からはじめて、Inventory_Transaction_File(例: Inventory_Transaction_File_20XX0101-20XX1231)のすべての取引を適用する。コンピュータで算出した期末の数量を、Inventory_On-Hand_Fileでリストされた数量の期末の値と比較する(例: Inventory_On-Hand_File_20XX1231)。
データレビュー	
<b>Missing data(欠損データ)</b>	フィールドによって表示された欠損や空白値の数。
<b>Invalid data(不適切なデータ)</b>	フィールドフォーマットの要件に準拠していないフィールドのレコードの数(例えば、日付や時刻フォーマットに準拠していない日付や時間、小数点以下2桁を含まない数値フィールドなど)。
<b>Invalid data transaction date(不適切な取引日)</b>	想定される(または被監査企業から提供される)取引の日

のデータ)	付が報告期間内であることを検証する。
<b>Inactive records</b> (非アクティブレコード)	テーブル内で相互参照している値を持つレコード(例: 事業単位コード、製品 ID、位置情報 ID、貯蔵庫 ID) があるか、そのレコードが他のテーブルで必要に応じて使用されているかを検証する。
<b>Invalid transaction codes</b> (不適切な取引コード)	取引コードが使用されている場合、取引コードが企業の取引コードのマスターリストと一致するか検証する。
<b>Inconsistency between detail and summary data</b> (詳細データと概要データの不一致)	詳細データと概要データ間の一貫性を検証する(例: 詳細データの一覧にある商品が概要データにも含まれているか)。

## 4.0 在庫管理 質問事項

次の情報は企業の IT データについての理解および利用に不可欠である。企業の財務管理をその IT 担当者とのコンサルテーションによって行う場合、可能な限り、データが提供されるごとにその項目の各々を管理対象とするべきである。これらの質問は、すべてを含むことは意図しておらず、例示として示されている。対話を促すことで関連するリスクに対する理解を深めるため、次の質問の一部はオープンエンド型の質問である。このデータ標準を導入する前に、内部統制の利用と職務分離のテストを通じてシステムのデータの信頼度が評価されるべきである。

### 在庫管理

次の事項を考慮すること。

1. 在庫品の分類(原料、仕掛品、完成品)には何が使用されているか?
2. 第三者が所有する手持ち在庫品はあるか(例: 委託在庫または請求書、取引の保持)? これはどの勘定科目に分類されるか?
3. 第三者(例: 敷地外の倉庫や顧客)に保管されている在庫品があるか? これはどの勘定科目に分類されるか?
4. 循環棚卸をするか? または一括実地棚卸をするか? 実地棚卸はどれくらいの頻度で実施するか? どの商品を何時に在庫保管するか? データの不一致がある場合にはどのように対応するか?
5. 原価計算にはどの方式が使用されているか?
6. 売れ行きが悪いか、損傷があるか、廃版となった在庫品などを識別するために実施するのはどのような手順か? また、これらの在庫品は在庫レコードではどのように識別されるか?
7. 計量単位にはどのコードを使用しているか? また、その説明は何か?
8. その他の費用フィールドを使用していた場合、各費用(例: 原料費、運送費、人件費)に対して説明を付加すること。
9. 在庫管理システムと連動する在庫管理費用の重要な情報源について説明すること。
10. 標準原価法を使用する場合、どのように標準を定めて、どれくらいの頻度で更新するか?

11. 「マルコフ連鎖の法則」による ABC リスクベースのプログラムで在庫管理を行う場合、リスクの分類を決定するにはどのような基準(例: ドル価値、リスク、回転率)が使用されるか? または、妥当性を維持するためにはどれくらいの頻度でこれらの基準を確認するか?